

SAFE MICE

感染症拡大のリスクを抑え、MICEを積極的に開催するための
主催者向けガイドライン
GUIDELINES

2023年5月9日 改訂





感染症拡大のリスクを抑え、MICEを積極的に開催するための

主催者向けガイドライン

GUIDELINES for MICE event organizers to prevent the spread of infectious disease.

ガイドライン改訂の理由 … P.1

1. MICEは、経済発展とまちづくりの「起爆剤」
2. コロナ禍からの経済回復のため、MICE開催を推進!

MICE開催前の実施事項 … P.3

1. 感染症対策の方針・組織の整備
2. 会場・協力会社との共同準備
3. 参加者への周知

MICE会期中(設営・撤去日を含む)の実施事項 … P.4、5

1. 発熱者・体調不良者の入場を防ぐ
2. 公衆衛生の原則を周知する
3. 密閉させない
4. 密集・密接させない

大阪観光局による主催者へのサポート … P.6

[本件に関するお問合せ]

公益財団法人 大阪観光局 MICE推進部

TEL: 06-6282-5911 Email: convention@octb.jp

大阪MICE公式WEBサイト: <https://mice.osaka-info.jp/>

ガイドライン改訂の理由

Reasons for Creating These Guidelines

MICEは、経済発展と まちづくりの「起爆剤」

過去何十年にもわたり、MICE* (展示会や学術会議などのビジネスイベント) は世界中で盛んに開催されてきました。なぜなら、MICEはビジネスの機会やイノベーションの創出、研究開発の促進、参加者が消費する交通、飲食、宿泊による巨額の経済効果など、経済発展と地域活性の牽引役として、重要な役割を果たしてきたからです。

しかしながら、2020年に始まった新型コロナウイルスのパンデミックにより、ほとんどのMICEが中止・延期となりました。これにより、展示会に出展し、製品を販売していた中小企業が売上を失い、また、発表やネットワーキングの場が失われたため、学術や研究分野の交流が停滞しました。さらに、MICE開催に関わる企業、ホテル、飲食業、観光産業などが、危機的な経営状態に追い込まれるなど、経済に深刻な打撃を与えました。

そのような中、大阪観光局はMICEを再始動させるため、2020年6月、国内で初めて、「感染拡大のリスクを抑え、MICEを積極的に開催するためのガイドライン」を策定するとともに、同年7月には多くの関係者のご協力のもと、「第12回関西ホテル・レストランショー」など7展を開催し、国内で初めて、かつ世界でも極めて早い時期に、MICEを再開することができました。このガイドラインと、展示会で適用された運営方法は全国に広がりました。

また、ビジネスイベントに限らず、大阪観光局には、他の様々なスポーツ・文化・エンターテインメントなどのイベント主催者からも相談が寄せられ、これらの分野でも日本で初めての再始動を数多く実現して参りました。これにより、MICEとイベントの主催者にとって、大阪の積極的・協力的な姿勢が広く認知され、様々な開催案件が寄せられるようになりました。特に大阪は、2025年大阪・関西万博の開催地です。万博は日本にとってパンデミック後の最大級の国際イベントであり、旅行やビジネス往来復活の起爆剤としなければなりません。また、東京五輪で実現できなかった、地域活性化や震災復興の世界への発信を行う使命があります。つまり、万博はMICE開催地としての日本の魅力を世界中に発信する千載一遇のチャンスであり、大阪は日本全体のためにMICEへの積極姿勢を世界中に発信する必要があると我々は考えております。

さらには、コロナ禍を受け、MICEの本質的な価値である「MICE開催が社会にもたらすインパクト」を、世界各都市が再認識しはじめる動きが出てきています。このような中我々は今後ともMICEの価値は普遍的であり、経済発展とまちづくりのエンジンの役割をはたすものであることを、引きつづき発信し続ける方針です。

関係者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

ガイドライン改訂の理由 Reasons for Creating These Guidelines

2.

コロナ禍からの経済回復のため、 MICE開催を推進！

MICEを経済活性化の重要政策と位置付けている大阪府・大阪市・大阪観光局は、感染拡大のリスクを抑えながら、リアル開催できる環境を推進していかねばならないと考えます。また、新型コロナ禍で減退した経済を回復させるためにも、ビジネス往来を促進し、経済波及効果の大きい対面開催のMICEを、積極的に誘致していきたいと考えます。

大阪観光局は、2020年4月頭に本ガイドラインの策定に着手して以降、細部を過度に規定することを避け、主催者が感染症対策の要諦を理解し、現場で臨機応変の対応や工夫を生み出すことができるようなシンプルな構成に努めました。このように、本質的な記載を心がけた結果、本ガイドラインは発表以来、殆ど修正を加える必要がなく、今日まで運用を継続して参りました。

その後、パンデミックから3年が経過し、世界的には落ち着きを取り戻しつつあります。一時的にオンライン開催であったMICEも対面開催へ復活する傾向が強まっています。一方で、世界中から多数の人が集まるMICEにとって、感染症対策は地震や災害対策と同様、今後もMICE開催時に配慮すべき重要なリスクです。従ってこの度のコロナ禍で得た経験を風化させることなく、恒常的な感染症対策へと昇華させることが必要です。

そのため、この度、新型コロナウイルスに限らず、新たな感染症を防ぐための公衆衛生の基本的な対策に絞ったガイドラインへと改訂を行いました。これにより主催者の皆様には、対面でのMICE計画を立てられますようお願い申し上げます。

コロナ禍で進化したデジタル技術は、対面開催のMICEの価値を高めるツールとして今後も活用され、MICEはさらに充実した人と人の出会いとイノベーションを生み出すものへと進化を遂げると確信しています。

MICEが再び全国各地で盛んに開催され、経済発展に寄与することを願ってやみません。

本ガイドラインは、大阪府や政府の感染症対策方針に沿うことを前提としておりますので、
今後も状況の変化に応じて柔軟に内容を改訂していく方針です。

セルフチェックリストとしてもご活用いただけるよう チェックボックスをご用意しました。

1. 感染症対策の方針・組織の整備

- 1-1. 感染状況に関する正確な情報源を確保しておく。
(例) 厚生労働省 (mhlw.go.jp)、大阪府 (pref.osaka.lg.jp)、大阪市 (city.osaka.lg.jp)
- 1-2. 延期および中止を判断する基準・プロセスを定めておく。
(例) 政府・自治体より開催の自粛を求められた場合
- 1-3. 感染症対策の責任者及び組織、役割分担を明確に定め、文書化しておく。

2. 会場・協力会社との共同準備

- 2-1. 主催者と会場の役割分担と責任範囲を明確に定め、文書化しておくとともに、新型コロナウイルスに限らず新たな感染症を防ぐための基本的対策を共有する機会を設ける。
- 2-2. 会場側の以下の点に関する取り組みを確認し、対応が不足していると思われる場合は、追加対策を会場側に要請または主催者として準備する。
 - A) 会場内の換気(場所、方法ならびに頻度。不十分な場合は以下を検討)
 - 会議・セミナーの場合は窓などを常時開放し、空気の流れを作り、外気を取り込む
 - 展示会の場合は搬出入口を部分開放し、空気の流れを作り、外気を取り込む
 - B) トイレなど共用部の清掃・消毒、ゴミの廃棄(場所、方法ならびに頻度)
 - C) 会場スタッフ(会場の協力会社を含む)への感染防止策の指導
- 2-3. 会場側と協力し、感染の疑いのある参加者を発見した際の緊急連絡先(会場付近の病院・保健所など)リストを作成しておく。外国人の受け入れ可能な病院も確認しておく。
- 2-4. 会場側と協力し、緊急連絡網を作成しておく。所轄の保健当局と主催者、会場同士で連携がとれるようにする。
- 2-5. 各協力会社とも、上記に準じた準備を行う。

3. 参加者への周知

最大の感染拡大防止策は、参加者の感染リスクに対する意識を高めることである。

したがって以下を徹底する。

- 3-1. 全参加者に対し、以下の場合は参加を控えるよう予め告知する。
 - A) 発熱がある時
 - B) 咳・咽頭痛・息苦しさなどの症状が認められる時
 - C) 保健所などの健康観察下にある時
 - D) その他、体調が優れない時(味覚・嗅覚異常を感じる時や疲労倦怠感を強く感じる時などを含む)
- 3-2. 会場内にて明らかに体調変化が見受けられる場合は、速やかに退場していただく場合がある旨を予め告知する。

セルフチェックリストとしてもご活用いただけるよう チェックボックスをご用意しました。

1. 発熱者・体調不良者の入場を防ぐ

- 1-1. 主催者スタッフの体調確認を徹底し、発熱など体調がすぐれないスタッフの勤務は停止する。同様の対策を会場、協力会社、展示会の出展社などに要請。

2. 公衆衛生の原則を周知する

- 2-1. 会場、食堂、トイレの出入口に消毒液を設置し、参加者に手指消毒を推奨する。
- 2-2. トイレやドアノブなど、感染拡大のリスクが高い共用部を定期的に消毒する。
- 2-3. 全参加者に対し、感染症に対する注意喚起とともに、手洗い、手指の消毒、咳エチケット等の公衆衛生の原則を徹底するよう周知する(公式ホームページ、看板設置など)

3. 密閉させない

- 3-1. 窓や出入口の他、搬出入口や非常扉などを可能な限り開放し、会場内の換気に努める。
- 3-2. 会場の構造上、上記3-1(出入口の開放)のみでは換気が不十分と思われる場合は、空気の流れを作り、外気を取り込むための追加措置を行う(出入口近くでのサーキュレーターの設置など)。

セルフチェックリストとしても活用いただけるよう チェックボックスをご用意しました。

4. 密集・密接させない

- 4-1. 参加者にオンラインでの事前入場登録を促し、入場者証等を事前に送付または印刷して持参してもらうなど、会場受付での行列を少なくする工夫を行う。また受付など行列が予想される場所では、参加者が前後の人と適当な距離をとって並べるよう、工夫を行う。
- 4-2. 【展示会、イベントなど】会場内の混雑状況を頻繁に監視し、参加者同士が距離を十分に取れないと思われる場合は、以下のような対策を検討する。
 - A) 会場内に収容する人数の目安を決め、混雑状況に応じて、入場の制限を行う。
 - B) 入場を待つ人のための待機スペースは、人が密集しないよう十分な広さを設ける。
 - C) 開催準備・撤収期間も同様の対策を実行する。
- 4-3. 【セミナー、国際会議など】
 - A) 演台と聴講者との間を十分に空ける。
 - B) 隣の聴講者との間隔を適度に空ける。



大阪観光局によるMICE主催者へのサポート

Support for MICE Event Organizers from the Osaka Convention & Tourism Bureau

大阪観光局ではMICEの主催者に対し
様々な支援を行っております。

詳細は当局ホームページをご覧くださいませ。

[本件に関するお問合せ]

公益財団法人 大阪観光局 MICE推進部

TEL: 06-6282-5911 Email: convention@octb.jp

大阪MICE公式WEBサイト: <https://mice.osaka-info.jp/>